

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
基礎の数学B	2	3年 情報ビジネス科 システム工学科	選択P	自主教材	自主教材

学習目標	比較的平易な問題を用いて、義務教育段階での学び直しをするとともに、それらを通して、社会に出てから生きる力の土台になる数学的資質(条件を整理し、的確な処理ののちに結論を提示する。また、その過程を論理的に相手に説明をするなど)を培う。
主な学習内容	四則計算、分数計算、平方根の計算 1次方程式・1次不等式・連立方程式・2次方程式 最大公約数・最小公倍数 面積・体積 文章題 損益に関する問題 通過算 速度算 仕事算 濃度算 植木算 割合 場合の数 確率 集合など
評価の観点・規準	○ 関心・意欲・態度 … 考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。 ○ 数学的な見方や考え方 … 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。 ○ 数学的な技能 … 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 ○ 知識・理解 … 基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。
評価の方法	主に次の2点について評価する。 ・「数学的な見方や考え方」「表現・処理」及び「知識・理解」は、この3観点に関する問題を中心に、中間テスト・期末テスト・錬成テスト(長期休業中の宿題確認テスト)で出題して総合評価する。 ・「関心・意欲・態度」の観点は、授業中の小テストや副教材の提出状況、設問への取り組み状況、授業への取り組み(発言・発表・発問など)具合など等を考慮して総合評価する。

学期	内容
1 学期	四則計算・分数計算・平方根の計算 問題演習・ポイント解説 (中間考査)
	1次方程式・1次不等式・連立方程式・2次方程式、最大公約数・最小公倍数、面積・体積 問題演習・ポイント解説 (期末考査)
2 学期	文章題、方程式・不等式の応用、損益に関する問題、距離・速さ・時間など 問題演習・ポイント解説 (中間考査)
	距離・速さ・時間、仕事算、濃度算、表の読み取り 問題演習・ポイント解説 (期末考査)
3 学期	植木算、集合・割合、場合の数、場合の数、確率、推論、1次関数 問題演習・ポイント解説 (学年末考査)

備考 ・ 講座の特色 ・ 履修条件 ・ 注意事項 等	
--	--